

# 看護学部

Faculty of Nursing

看護学科

HomePage



## Student Growth

### 家族や患者さんに 身近に感じてもらえる看護師に。

看護学科 4年生 松本 奈桜さん

奈良県／私立関西創価高校

家族が病気の時に看護師は身近で家族に寄り添う存在であると感じ、私も看護師をめざすようになりました。また、高校時代に難民の人権問題を学ぶ機会があり、自分も何か力になりたいと思いました。看護の知識や技術を活かして、いつか難民の人たちとともに笑顔あふれる社会づくりに寄与したいと思っています。

- 1年次 病態生理や看護理論、基礎看護技術など看護の基本を学びながら、夏休みと春休みに韓国、フィリピンでの国際看護研修に参加しました。
- 2年次 アメリカでの国際看護研修に参加し、難民のメンタルヘルスについて現地調査を行いました。そこで、現地学生の積極的に学ぶ姿勢に刺激を受けました。
- 3年次 より実践的な知識、技術を学んだ後、約半年間病院での領域別実習を行いました。悩みながらも、患者さんの「ありがとう」という言葉に励まされました。
- 4年次 卒業研究、国家試験対策の勉強と同時に就職活動に取り組みながら、自分の理想の看護師像を追求していきます。

## 看護学部の 特色

### 豊富な教養科目による「人間力」の養成

▶▶▶▶▶ 097

看護師はケアを必要とする人々を対象とする職業であることから、看護に関わる専門的知識や技術と並んで、人間性や倫理観も求められます。総合大学ならではの特性を活かした幅広い領域の教養科目により、豊富な知識を習得するとともに真の教養を身につけ、「人間力」を養成します。

### 看護師育成に特化した「確かな看護実践力」養成カリキュラム

▶▶▶▶▶ 098

現代の医療では、看護師に求められる知識と技術はますます高度化しています。こうした状況を踏まえ、高いレベルでケアを実践できる看護師を育成するため、習得すべき技術項目と卒業時の到達目標を明確にし、看護師育成に特化したカリキュラムを採用しています。多様な医療・看護の現場で確かな看護実践力を発揮できる人材を育成します。

### グローバルマインドを持った看護師の育成

▶▶▶▶▶ 099

在留外国人の増加による異文化コミュニケーションのニーズの拡大や、感染症の世界的流行など医療・看護の現場でもグローバル化が進んでいます。習熟度別の英語教育や、海外交流校の附属病院などでの海外研修を行い、グローバル社会で活躍できる看護師を育成します。



# 看護学部の 4年間の学びの流れ

「人間力」と「確かな看護実践力」を養成する

	▶ 1年次 学習スキルを 獲得する学び	▶ 2年次 「知」を関連付け 展開する学び	▶ 3年次 看護師としての アイデンティティを探究する学び	▶ 4年次 より広い視野に 立つ挑戦的な学び
大学共通科目 18単位(必修)	必修科目 コンピュータ・リテラシー 学術文章作法	選択必修 大学科目 人文系 社会系 英語		
専門基礎分野 26単位(必修)	構造機能学Ⅰ 構造機能学Ⅱ 栄養学 病態生理学 健康と生活 生命倫理 人間関係とコミュニケーション	診断治療学Ⅰ 診断治療学Ⅱ 心理学 薬理学 看護とリハビリテーション 公衆衛生入門 社会保障・社会福祉論	疫学・保健統計	
看護の専門分野 71単位(必修)	キャリアプランニング基礎 看護学概論 生活援助技術Ⅰ 生活援助技術Ⅱ 生活援助技術Ⅲ 生活援助技術Ⅳ 看護理論 フィジカルアセスメント	臨床看護技術Ⅰ 臨床看護技術Ⅱ 看護過程演習 国際保健学 成人看護学概論・急性期援助論Ⅰ・ 慢性期援助論Ⅰ 老年看護学概論・援助論Ⅰ 小児看護学概論・援助論Ⅰ 精神看護学概論・援助論 母性看護学概論 地域在宅看護学概論	成人看護急性期援助論Ⅱ 成人看護慢性期援助論Ⅱ 老年看護援助論Ⅱ 小児看護援助論Ⅱ 母性看護援助論Ⅰ・Ⅱ 地域在宅看護援助論Ⅰ・Ⅱ 感染看護論 看護管理論 看護学研究方法論	災害看護論 卒業研究演習 卒業論文
臨地実習	看護師としての使命を 確認する基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅰ 	看護の思考過程を学ぶ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎看護学実習Ⅱ 	理論と実践をつなぐ 領域別実習 成人看護学急性期実習 成人看護学慢性期実習 老年看護学実習 小児看護学実習 精神看護学実習	キャリアのスタートに つながる統合実習 母性看護学 実習 地域在宅 看護学実習 看護実践 統合実習
選択科目 10単位(選択)	生化学の基礎 		医療連携論 	生活習慣病予防と看護 リエゾン精神看護 看護実践と倫理的課題 がん看護論 クリティカルケア論 家族看護論 看護専門職論
		国際看護学 国際看護研修	国際看護特講 a・b・c	

## 主な客員教員

交流協定校より客員教員を招き、国際看護に関する講義を行います。国際看護研修の参加者にとっては、事前学習の機会になっています。



カリフォルニア大学サンフランシスコ校  
看護学研究所 メアリー・フォーリー教授



フィリピン大学看護学部  
ジョセフィナ・ツアソン教授



韓国・仁済(インジェ)大学  
ユン・スッキ医学部看護学科副学部長

## Pick Up [開講科目]

### 構造機能学

看護実践の土台となる解剖学・生理学の知識と深い理解を養い、人体の構造と機能について学ぶ

看護の実践で重要となる、人体の構造(解剖)と機能(生理)に関して学ぶ科目です。機能に関する知識を、構造や分子レベルの現象(生化学)と関連づける習慣を養成し、解剖学と生理学の知識と深い理解を前提に、人体の構造とその機能について学びます。構造機能学Iでは、ホメオスタシス(恒常性)とフィードバック機構の重要性を知り、細胞と組織、皮膚と膜、骨格、筋、血液、循環器、消化器の7ジャンルを習得します。さらに、構造機能学IIでは、神経、感覚、内分泌、免疫、呼吸器、泌尿器、生殖器の7ジャンルを学びます。



### 臨床看護技術

演習モデルを用いて、  
疾病の診断や治療に必要な看護技術を身につける

健康障がいを抱える人の疾病の診断や治療過程で必要となる診療の補助技術に焦点をおき、与薬、導尿、浣腸、静脈内採血、吸引療法、経管栄養法、注射法など、さまざまな看護技術を学びます。授業は講義と演習で構成されており、演習では少人数グループで、実際の医療物品を用いながら演習モデルを使ってシミュレーションし技術を習得していきます。これらの看護技術は身体侵襲を伴う危険性があるため、技術の習得に取り組むことにより、看護師としてあるべき姿勢を考える良い機会にもなります。



### 地域在宅看護援助論

訪問看護に必要な知識や技術から、介護保護法など  
社会資源の活用、ケアマネジメントのあり方まで幅広く学ぶ

地域在宅看護援助論では、在宅療養者と家族がその人らしい人生を送れるような支援を追求し、訪問看護における基本姿勢や具体的な援助に関する知識・技術について学習します。ロールプレイやグループワークを通じて、訪問看護で求められる態度・マナーをはじめ、多様な価値観・生活背景をもつ人に寄り添う看護職の姿勢を身につけます。また、在宅という場の特徴を踏まえて看護を応用すること、介護保険法など在宅ケアを支える社会資源の活用、ケアマネジメントのあり方についても学習します。



## Message — 在学生メッセージ



韓国での国際看護研修に参加し、  
その国特有の医療、看護事情を知りました。

看護学科 3年生  
坂井 桐華さん(新潟県/新潟高校)

韓国での国際看護研修では病院や保健所を見学し、韓国の医療、看護の特徴などを学びました。そして、韓国・仁済(インジェ)大学の看護学部生と交流し、医療だけでなく、文化や生活を学ぶ機会も多かったです。また、世界遺産の見学に行ったり、貴重な体験をすることができました。韓国では儒教の考えが基本にあるため、特有の家族制度が医療や看護のベースになっていることを知りました。将来は訪問看護師など地域在宅の場で、高齢者が笑顔で生活できるように力を尽くしたいと考えています。

### ●私の一週間

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
7:00~9:00							
1限目	部活 ミーティング	課題	国際保健学	課題	地域在宅 看護学概論		
2限目	精神看護 援助論	母性看護学 概論	課題	成人看護急性 期援助論Ⅰ	精神看護 援助論		
3限目	小児看護 援助論Ⅰ	成人看護慢性 期援助論Ⅰ	公衆衛生 入門	課題	臨床看護 技術		
4限目	看護とリハビリ テーション	実習グループ ワーク	老年看護 援助論Ⅰ	診断治療学Ⅱ	課題		
5限目	実習技術練習		部活 ミーティング		部活 ミーティング	買い物	課題
~18:00							
18:00~20:00	課題	課題	部活	課題	部活	課題	
20:00~22:00						家事	
22:00~24:00	家事						

## 1 Focus

### 国際看護研修

グローバルマインドを持った看護師を育成するために、  
本学の豊富な国際交流のネットワークを活かした国際看護研修を実施。

アメリカ、フィリピン、韓国で研修を実施。フィールドリサーチやシャドーイングを通して、各国が持つ課題について学びます。そして、世界の保健医療の諸問題に対する関心を持ち、グローバル化が進む社会で活躍できる看護師を育成します。

#### アメリカ研修

全米屈指の医療系大学院大学であるカリフォルニア大学サンフランシスコ校において、看護先進国である米国の看護理論や実践に関する講義と、参加者それぞれが立てたりサーチテーマに沿った、医療施設訪問調査、医療従事者へのインタビューを行います。それらを通じて、医療・健康に関してグローバルな視野で考察すること、異文化適応力を高めること、両国の看護実践を比較し、日本の看護ケアに関する考察を深めることをめざします。



#### フィリピン研修

フィリピン共和国フィリピン大学、イースト大学において、保健医療および看護に関する特別講義、同大学付属病院や各種医療施設の視察により、現地の医療や公衆衛生および健康保険などに関するケーススタディを、フィールドリサーチを通じて行います。さまざまな健康レベルに対するフィリピンの文化・社会・生活を反映した多様な看護のあり方を学びます。



#### 韓国研修

韓国の医科系総合大学である仁済(インジェ)大学において、韓国の医療制度、看護ケア、看護教育などに関する講義を受講し、多様性を尊重したケアを提供することの重要性を学びます。  
付属病院では、第三次医療機関における医療と看護ケアについて、シャドーイングを通して理解を深めます。また、歴史記念館などを訪問し、隣国である韓国との友好交流の重要性を学習します。



## 2 Focus

### 臨地実習

#### 1年次から始まる医療現場や介護施設での実習。

4年間を通じて、八王子市を中心とした医療機関や介護施設などで臨地実習を行います。

実習では、講義や演習で学習したことを実践場面に展開し、看護の実地で生じた出来事や自ら経験したことに看護学としての意味づけをします。単に知識や技術の習得をめざすのではなく、看護現象を科学的に分析し、判断する習慣を身につけます。

また、保健・医療・福祉それぞれの職種で展開されるチーム医療における看護師の役割・機能を理解し、連携と協働の大切さを学びます。



#### ■主な実習先一覧 ※2018年4月現在

三愛病院、清智会記念病院、八王子山王病院、右田病院、南多摩病院、東京西徳洲会病院、公立阿伎留医療センター、相模野病院、横浜市立みなと赤十字病院、多摩南部地域病院、大久保病院、相模原協同病院、仁会和総合病院、駒木野病院、平川病院、高月病院、東京医科大学八王子医療センター、榎原記念病院、横浜市立市民病院、公立昭和病院、日本医科大学多摩永山病院、社会福祉法人敬愛学園運営の保育園各所、介護老人保健施設 ハートランド・ぐらんぱぐらんま、介護老人保健施設 イマジン、訪問看護ステーションめだか、訪問看護ステーションとんぼ、訪問看護ステーションひばり、訪問看護ステーションいるか、社団法人八王子市医師会立訪問看護ステーション、めぐみ訪問看護ステーション、訪問看護ステーション清風園、訪問看護ステーションゆらりん、特別養護老人ホーム潤生園、八王子市地域包括支援センター各所

#### ■実習スケジュール ※例であり、順番が前後する場合があります。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
3年次				小児 精神	夏季休暇		成人慢性期	老年	成人急性期		
4年次		母性		地域在宅		統合看護実習				冬季休暇	

●基礎看護学実習Ⅰ：1年次8月初旬（1週間） ●基礎看護学実習Ⅱ：2年次1月下旬～2月初旬（2週間）



## Message

### 臨地実習を体験して

患者さんとの関わり方を深め  
自信につながりました。

看護学科 4年生

サトウ・リッチモンドさん(神奈川県/伊勢原高校)

私はフィリピンで育ったので、日本語に自信が無く、初対面の人と話をすることが苦手でした。しかし、実習の中で患者さんを担当することを通じて、関わり方を深めることができ、今では積極的に声を掛けられるようになりました。生活習慣、入院中の生活、退院後の生活が、患者さんごとに異なるため、患者さんとの信頼関係を築くとともに、患者さんを理解していくことが大切であることを学びました。

創価大学でグローバルマインドを育み、日本人だけでなく、在日外国人に対して、ケアができる看護師をめざしていきます。



臨地実習での経験すべては  
自分を成長させてくれました。

看護学科 4年生

中村 裕菜さん(神奈川県/私立東洋高校)

臨地実習では患者さんの立場に立って考えることの重要性を学びました。上手い出来ないことや失敗もありましたが、これをよい経験として学びに変え、成長につながったと実感しています。自発的にコミュニケーションがとれない患者さんもあるため、表情やしぐさ、アイコンタクトなど、患者さんが出すサインを捉え、その小さな変化を見逃さない観察力を鍛えることが重要であると学びました。小さなことでも毎日継続することが大切で、その積み重ねで患者さんの状態が改善した時には、看護の素晴らしさを実感しました。

## Message — 在学生メッセージ



目の前の一人を大切にする看護師になるため、日々勉強に取り組んでいます。

看護学科 2年生

二羽 千咲さん(福岡県/私立中村学園女子高校)

私立高校だったため大学では両親に経済的な負担をかけず、なおかつ勉強に集中できるように複数の奨学金制度(創友会ふるさと給付奨学金、創価大学特別奨学生、日本学生支援機構奨学金Ⅰ種・Ⅱ種)を利用して大学に通っています。看護技術は習得に時間がかかりますが、教員の指導や同級生とのディスカッションで学んだことを最大限に吸収したいと思い、日々勉強に取り組んでいます。将来はがん専門看護師として、患者さんの気持ちを理解し、目の前の一人ひとりを大切にする看護師になることが目標です。

### ●私の一週間

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
7:00~9:00							
1眼目		English I	キャリアプランニング基礎				
2眼目			コンピュータ・リテラシーI	English I	健康と生活		
3眼目		看護学概論	生活援助技術Ⅲ	構造機能学Ⅰ	人間関係とコミュニケーション	部活	買い物など
4眼目	生化学の基礎	学術文章作法Ⅰ	生活援助技術Ⅳ	歴史Ⅰ	心理学概論		
5眼目	人間教育論Ⅰ						
~18:00							
18:00~20:00	部活	予習復習	部活	予習復習	部活	勉強	
20:00~22:00							
22:00~24:00	予習復習		予習復習		予習復習		

## Topic

### ▶充実した教育環境

看護技術を磨き、深い知識を得るため、充実の施設設備と教育サービスを用意。

看護学部棟は4階建てで、演習設備を備えた領域ごとの実習室をはじめ、看護技術向上のためのスキルラボ、講義室、自習室を完備。各実習室には、看護技術を磨くための演習が行えるよう、高機能シミュレータなどを配置しています。入学する学生全員に1人1台、ノートパソコンを4年間貸与します。さらに電子教科書を採用し、学生の個別学習を支援します。



#### 多彩な奨学金制度

創価大学牧口記念教育基金会看護学部生奨学金は看護学部生のみが受給対象となる独自の奨学金で、返還の義務のない「給付型」です。年1回の申込みで所得基準と成績基準の両面から審査を行い、秋学期に給付。次年度の再出願も可能です。

給付額	25万円	採用人数	20名
-----	------	------	-----

#### 白樺図書館

白樺図書館は、看護系の資料を中心に約5,000冊の蔵書があり、常に最新の情報を入手することができるよう、オンラインのデータベースや電子ジャーナルが充実しています。

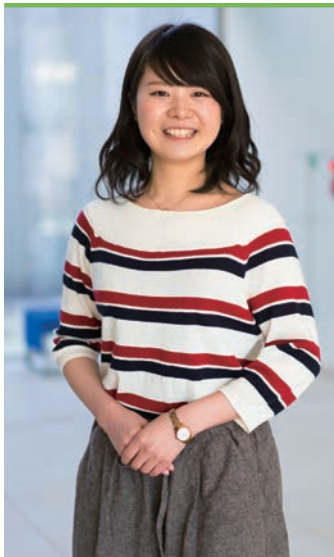


#### スキルラボ

看護技術を確実に習得するためのスキルラボ。このラボでは、高機能シミュレータなどを使って、看護技術のトレーニングを行うことができます。



# Message—卒業生メッセージ



将来は救急救命の現場で  
フライトナースをめざし、多くの人の役に立ちたい。

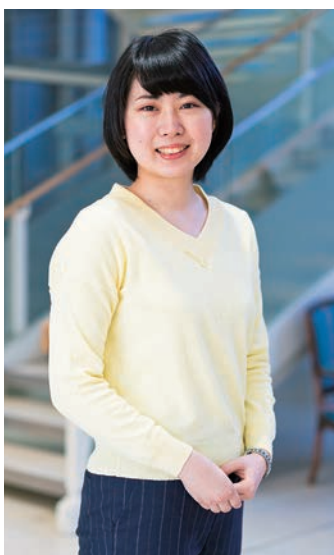
大阪大学医学部附属病院  
中池 菜那さん 看護学科 2018年卒業

看護師である母が親身に患者さんに接する姿に憧れて看護師をめざしました。創価大学の看護学部は、知識や技術だけでなく、人間性や倫理観を磨くことを重視するため、自分の理想とする「患者さんの心に寄り添う」看護師を目標に学ぶことができました。将来は救急救命に携わり、フライトナースをめざしています。どのような状況にも瞬時に対応し、患者さんの生きる力を引き出し、多くの人の役に立てる看護師になっていきたいと思っています。

看護学部の理念を胸に  
「患者に寄り添う」看護師になっていきたい。

島根大学医学部附属病院  
看護学科 2018年卒業 鉄池 久美子さん

祖母が入院した際の看護師さんがとても親切で、家族にも優しくしてくれたことがきっかけで看護師をめざすようになりました。当初は地元大学への進学を考えていましたが、新設される創価大学の看護学部の理念に共感し進学しました。大学1年次に祖母を看病した際、「患者に寄り添う」ことの大切さを実感しました。将来は、興味のある分野をより深く学び、その分野において高い水準の技術を持つ看護師(認定看護師)も視野に入れ、力をつけていきたいと思っています。



国際看護研修での貴重な経験を活かして  
多様な患者さんを理解し、ケアしていきたい。

日本赤十字社医療センター  
桑野 成実さん 看護学科 2018年卒業

開発途上国の医療に関心があったため、在学中に国際看護研修でフィリピンを訪れ、「都市部と地方の医療格差」をテーマに現地でのリサーチを行いました。日本とフィリピンでの医療に対する意識や習慣が異なることを実際に感じ、文化的な違いを理解する大切さを学ぶ貴重な機会となりました。今後、研修での学びを活かし、常に学ぶ姿勢を持ち、多様な患者さんを理解し「生きる力を引き出す」ことのできる看護師になっていきます。